

平成24年度 第1回久留米市地域公共交通会議 議事録

項目	内容
開催日時	平成24年6月22日(金) 午後2時00分～午後3時30分
開催場所	久留米市役所 3階 303会議室
委員等の出欠状況	委員(19名)：出席18名<内代理5名>、欠席1名 臨時委員(1名)：出席 1名 オブザーバー委員(2名)：出席 2名<内代理1名>
議事概要	<p>1 開 会</p> <p>2 挨拶(会長：臼井副市長)</p> <p>3 委員紹介</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 委員、臨時委員20名中19名の出席をもって、設置要綱第8条第2項に基づき会議成立を報告 <p>4 議 事</p> <p>(1) <u>報告第1号 久留米市地域公共交通会議の設置について</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 久留米市地域公共交通会議設置要綱の説明を行う。 <p>(2) <u>報告第2号 久留米市地域公共交通会議の副会長の選任について</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 設置要綱第7条第4項の規程に基づき、副会長を会長が指名(選出結果) 副会長 福岡大学工学部教授 辰巳 浩 <p>(3) <u>協議第1号 久留米市地域公共交通会議運営要領の制定について</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 設置要綱第11条の規程に基づき久留米市地域公共交通会議運営要領を会議に諮り、委員、臨時委員全員の承諾をもって原案の通り可決した。 <p>(4) <u>報告第3号 久留米市地域公共交通会議幹事会設置要領の制定について</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 設置要綱第10条第2項の規程に基づき会長が制定した久留米市地域公共交通会議幹事会設置要領の説明を行った。 <p>(5) <u>報告第4号 今後の会議スケジュールについて</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 平成24年度の地域公共交通会議スケジュールの説明を行った。 <p>[主な質疑]</p> <p>(委 員) デマンド乗合タクシーを試験運行する地元意見の集約方法はどのようなことを考えているのか?</p> <p>(事務局) 地域住民と会議の場を設け、第2回会議で事業計画案を提案する予定。</p> <p>(6) <u>報告第5号 久留米市の公共交通の現状について</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 久留米市の公共交通の現状とコミュニティバス(以下、コミバスという。)、コミュニティタクシー(以下、コミタクという。)等の取組状況を説明

項目	内容
議事概要	<p>[主な質疑、意見]</p> <p>(委員) デマンド乗合タクシーはコミタク事業を発展させたものと考えてよいのか？</p> <p>(事務局) そのように考えている。</p> <p>(委員) 現在のコミュニティタクシー事業は、利用者に偏りがあるように思われ、もう少し運用方法を検討した方が良い。</p> <p>(委員) コミタクは深夜も利用できるのか？</p> <p>(事務局) 昼間の時間のみの利用に限定している。</p> <p>(委員) 江上校区では、各区の区長がコミタクの運営委員を行っている。利用は活発で、平成23年度は補助上限に達している。利便性が良いため、利用者からの評判は良い。</p> <p>(委員) 団塊の世代が75歳を超えた時に生活交通の問題が深刻化する。その中で多様な利用者ニーズに応えながら安定した運用ができる仕組みを検討していきたい。</p> <p>(委員) 上手くいかなかったコミバスの検証を行い、その結果を活かして生活支援交通の制度を検討してもらいたい。</p> <p>(委員) 転勤してきた方は、久留米の公共交通は不便だと感じている。デマンド乗合タクシーは誰でも利用できるのか？</p> <p>(事務局) 詳細は次回会議で提示するが、年齢制限は設けない形を想定している。</p> <p>(委員) デマンド乗合タクシーの導入により既存の路線バスの利用者が減り、路線バス補助が増えるということが無いよう、検証を行うことが必要である。</p> <p>(委員) デマンド乗合タクシーの利用により公共交通空白地域の外出機会を増やし、公共交通全体の利用促進につながるような案を提示してもらいたい。</p> <p>(委員) デマンド乗合タクシーは他の幹線交通をサポートする機能として公共交通全体を考えることが必要。また、利用者には利用法を丁寧に説明することが必要。</p> <p>(委員) 交通の流れ（幹線への乗継等）を意識した施策とするとともに、安全性や利便性も追求して欲しい。</p> <p>(委員) 八女市で先進事例があるが、ニーズ分析がしっかりできていたため好評である。コミタクの満足度なども十分調査し、公平な制度設計を検討する必要がある。</p> <p>(委員) デマンド乗合タクシーの導入にあたっては、基幹路線とのバランスを考慮して実施して頂きたい。また、予約方法が成否を握っており、その方法の細部について十分な検討が必要である。</p> <p>(委員) 停留所の設置や民地での乗降場所の提供などを含めて、</p>

項目	内容
議事概要	<p>安全な場所の確保について調整して頂きたい。</p> <p>(委員) 行政支援は「最低支援」に基づくものである必要があるため、既存の公共交通よりもサービス水準が上回ることはない設定の検討が必要である。</p> <p>5 その他 ・特になし</p> <p>6 閉会</p>

平成24年度 第1回久留米市地域公共交通会議 議事録

委員、臨時委員、オブザーバー委員出欠名簿

No.	委員区分 第3条	所 属	委 員 名	出欠	代 理 者
1	第1号	久留米市	副市長 白井 浩一	◎	
2	第2号	西日本鉄道株式会社 自動車事業本部	営業第二課長 亀崎 元治	◎	
3	第2号	西鉄バス久留米株式会社	代表取締役社長 安河内 広造	◎	
4	第2号	堀川バス株式会社	代表取締役社長 丸山 健	○	取締役統括部長 久保山 太一
5	第2号	株式会社甘木観光バス	代表取締役社長 池野 栄次	○	路線事業部所長 田中 政治
6	第3号	社団法人福岡県バス協会	専務理事 阿部 功	×	
7	第4号	久留米市タクシー協会	会長 中川 恵司	◎	
8	第5号	久留米市 校区まちづくり連絡協議会	会長 溝口 寛	◎	
9	第5号	久留米 男女共同参画推進ネットワーク	会長 吉岡 マサヨ	◎	
10	第5号	NPO法人 高齢者快適生活づくり研究会	代表理事 吉永 美佐子	◎	
11	第5号	NPO法人ル・バトー	代表理事 田町 菜穂子	◎	
12	第6号	国土交通省 九州運輸局福岡運輸支局	支局長 牛嶋 賢一	○	企画調整課主席運輸企画 専門官 江上 康男
13	第7号	西鉄グループバス労働組合	福岡本部執行委員長 野田 正俊	◎	
14	第8号	国土交通省福岡国道事務所	計画課長 池田 稔浩	○	計画課 企画係長 平野 智志
15	第8号	福岡県県土整備部 久留米県土整備事務所	地域整備主幹 本田 顕子	◎	
16	第8号	久留米市都市建設部	部長 丸久 哲郎	◎	
17	第9号	福岡大学工学部	教授 辰巳 浩	◎	
18	第10号	福岡県企画・地域振興部 広域地域振興課	課長 小山 英嗣	○	地域交通係長 寺山 治
19	第10号	久留米商工会議所 中小企業相談所地域振興課	課長 古家 美恵子	◎	
20	第5条 (臨時)	城島地域校区まちづくり連絡会議	副会長 首藤 征伍	◎	
	第6条 (オブザーバー)	久留米警察署	交通第一課長 古賀 孝子	○	交通規制担当係長 田中 正成
	第6条 (オブザーバー)	うきは警察署	交通課長 立野 喜一	◎	

【◎：出席、○：代理、×：欠席】